

はじめに

近年、千葉県では、県や市町村における女性職員の管理職への登用率や、自治会長に占める女性の割合が増加傾向にあるなど、政策・方針決定過程における女性の参画が進む一方、労働の分野では、女性の有業率が30代で下がる、いわゆる「M字カーブ」が依然としてみられるなどの課題も挙げられます。

このような中、元気で活力ある社会を築いていくためには、男女が互いにその人権を尊重しつつ、ともに責任を分かち合い、男性も女性も個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会を実現することが重要です。

本県では、千葉県総合計画「次世代への飛躍 輝け！ちば元気プラン」において、男女共同参画についての理解の浸透を図る広報・啓発の充実に取り組むとともに、女性人材の育成や多様な働き方の促進などにより、女性の活躍を推進していくこととしています。

このため、「第4次千葉県男女共同参画計画」に沿って、市町村や民間団体などと連携・協力しながら、講演会等による意識改革や、ワーク・ライフ・バランスの普及促進など、様々な施策を推進しているところです。

男女共同参画社会の実現に向けた取組を進めていくためには、男女共同参画に関する様々な状況を統計データ等により分かりやすく「見える化」するとともに、行政が取り組む施策について広く周知していくことが重要です。

そこで、本県における男女共同参画の推進状況と、平成30年度における男女共同参画計画に位置付けられている全事業の実施状況や重点的取組事業に対する評価等を白書として取りまとめました。

本白書が、皆様にとって、本県における男女共同参画の状況や施策等に対する理解と関心を深めるとともに、家庭や地域、職場、学校など身近なところから取組を進めていただくための一助となれば幸いです。

令和2年2月

千葉県総合企画部長 石川 徹

第1部 本県における男女共同参画の現状について、グラフや表を用いて解説しています。

第2部 平成30年度に実施した本県の男女共同参画施策について、第4次計画の施策の方向に基づき、取りまとめています。

第3部 本県の男女共同参画センターの事業について掲載しています。